

患者さんにお広めください！

**国保料 無理なく納付できますか？
保険証はありますか？**



**6月18日(火)
13:00～16:00
民商事務所2F**

- 国保料が昨年に比べて上がっていますが、無理なく納付できますか？
- 保険証は手許にありますか？
- 病院窓口での3割負担を払えますか？
- 正規の保険証は1年間有効です。
あなたの保険証の期限は？
- 保険料が払えず差押えられていませんか？

**国保の事ならなんでも
相談を受け付けます！**

主催：姫路民主商工会
姫路市南畝町662-11 社会保障部
共催：西播社会保障推進協議会
TEL：(079) 281-0123 FAX：(079) 281-0040

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.193 2013年5月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

他科を知る会 泌尿器科領域
患者さんへの対応をアドバイス



会場からの質問に的確に答える長谷川先生

姫路・西播支部は4月25日に他科を知る会をじばさんビルで開催し22人が参加した。「相談しにくい尿に関する症状の対応」をテーマに酒井病院泌尿器科の長谷川麻衣子副理事長が講演を行った。(司会は宗実琴子支部長)

泌尿器科に関する学習会などでは、前立腺肥大など男性の疾患が大きなテーマになることが多い中、長谷川先生は女性の泌尿器疾患についてもふれ、40歳以上の女性の8人に1人にみられる、咳やくしゃみなど日常の動作で

2面に続く

1面から続く -----

尿が漏れる腹圧性尿失禁は、膀胱を支える骨盤の筋肉を鍛える膀胱訓練を行うことで改善されることを紹介した。近年では、低周波で筋肉や排尿に関する神経を刺激する「ウロマスター」による治療が行われていることを紹介した。

また夜間頻尿の対策として、アルコールやカフェインは避けること、夕方に運動をすること、排尿日誌をつけることなど、患者さんから尿に関する相談を受けた時に対応できるようアドバイスをした。

職員接遇研修会

すぐに生かしたい接遇マナー



スタッフなど68人が参加し接遇マナーを学んだ

支部は5月11日に接遇研修会を姫路市商工会議所で開催し、新人職員からベテランまで68人が参加した。「医療機関に求められる接遇の基本とクレーム対応」をテーマに、目白大学短期大学部教授の油谷純子先生が講演を行った。(司会は湯之上茂先生)

油谷先生は、信頼される医療機関のスタッフになるためには、「組織の人間であること」を自覚し、

接遇のプロ意識を持つことを呼びかけ、表情の作り方やおじぎなど実践を交えながら丁寧に解説した。患者さんからのクレームについては、相手の気持ちに共感する、素直にわびる、など相手に合わせた対応が必要だとアドバイスをした。

参加者からは、「わかりやすく勉強になった。すぐに生かしたい」、「2時間があっという間だった」との感想が聞かれた。

姫路市 子ども医療費無料化 半歩前進

姫路市は2013年度予算で、今年の7月から子ども医療費無料化を拡充する。現行は、3歳まで無料であり、その点、近隣自治体からは大きく立ち遅れていたが、半歩前進することになる。

子どもの医療費助成制度は、県の助成制度に基づき市町が半額負担する形で実施するもの。姫路市は、子ども医療費助成の拡充にあたっては、「平成26年度から高齢者バス等優待助成事業の見直しにより生じた財源をあてる」とも言っており、支部も参加する西播社保協は、子ども医療費無料化と引き換えに、高齢者の福祉予算を削ることに反対する申し入れを行っている。引き続き医療費無料化拡充にむけ運動をすすめていくことにしている

【事務局】

第253回支部幹事会より

4月20日(土) 午後2時30分～ 於 姫路じばさんびる

参 加 2人



◆情勢と運動対策では、①混合診療解禁について、日経新聞は「患者の選択肢が増える」「必要な医療技術を速やかに保険収載すれば、保険財政が持たない」などと混合診療解禁を訴えている。一方毎日新聞は、解禁は皆保険の土台を崩しかねないと批判。また社会保障制度改革推進法では、国民皆保険の定義が「すべての国民が加入する仕組み」へと矮小化されると警鐘を鳴らしている。②生活保護を引き下げれば最低賃金をはじめ国保料の減免や就学援助にも悪影響が出る問題について、③安倍政権は「成長戦略」の名で、公的な介護・医療保険の範囲を縮小するとともに、民間保険会社が新たな介護・医療ビジネスに参入できるようにする動きを強めている問題について、④政府は、TPP交渉参加にむけて関係閣僚会議の下に対策本部を設置する。7月の交渉参加を目指し、各国との事前交渉を急いでいること、⑤「共通番号制度」法案の国会審議が始まった。なりすまし犯罪の増加や政府による個人情報管理が、国民に対する監視を強めるという不安の声が上がっているなどについて意見を出し合った。

また他にも子どもの医療費無料化を求める取り組みについてや、今後の支部企画として、「他科を知る会」「支部総会」についても意見を出し合った。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、FAX: 078-393-1802 E-mail: arimoto@doc-net.or.jp

Tel 078—393—1807 担当事務局；有本まで。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願いします。

お問い合わせは、FAX: 078-393-1802 E-mail: arimoto@doc-net.or.jp

Tel 078—393—1807 担当事務局；有本まで。